

国分寺市 ビジョン 実行計画



- p26 ■ 施策体系
- p28 ■ 実行計画の見方
- p30 ■ 子ども・学び・文化
- p72 ■ 地域振興
- p98 ■ 保健・福祉
- p116 ■ 暮らし・環境
- p158 ■ 公共経営

施策体系



分野	施策	取組方針
子ども・学び・文化	1 妊娠・出産・乳幼児支援	母子保健情報の提供・共有・交換 切れ目のない妊娠・出産・育児支援体制の充実 メンタルヘルスに課題を抱えている保護者への支援
	2 子育て環境整備	乳幼児期における保育サービスの充実 就学児童の放課後の活動場所の充実 子育て世代の総合相談拠点の整備
	3 子育て支援サービス	子どもの居場所づくりの推進 子育て世帯の経済的負担軽減 地域における子育て支援サービスの充実
	4 子ども・若者支援	子どもに関する相談体制の充実 子ども子育て地域支援ネットワークの充実 発達相談の支援・連携強化 若者支援の推進
	5 文化芸術	文化芸術に触れる 文化芸術をはぐくむ 文化芸術をつなぐ 文化芸術を広める
	6 学校教育	人権尊重教育の推進 道徳教育の推進 特別支援教育体制の充実 基礎的・基本的な知識及び技能の習得
	7 教育環境整備	家庭・地域との連携の推進 施設整備の充実 質の高い学校給食の推進
	8 社会教育	学ぶ機会の提供 自主的な学びの支援 学校・地域との連携と学びをいかにする機会の創出 学習環境の整備
	9 歴史	文化財普及の推進 ふるさと文化財愛護ボランティアの養成と活動支援 文化財の保存・公開活用 史跡の保存・整備・活用の推進
	10 人権・男女平等・平和	人権尊重の意識啓発 犯罪被害者等の支援 男女平等の推進 平和への意識啓発

分野	施策	取組方針	
地域振興	11 国分寺の魅力	様々な手法による国分寺の認知度向上 協働による国分寺の魅力の発掘・発信 観光客に優しい環境の整備	
	12 地域づくり	地域の様々な社会資源の連携の促進 多様な世代による市民活動の活性化 地域づくりを担う人材の育成・養成	
	13 多文化共生	多言語での情報提供や在住外国人の生活・教育への支援 来訪する外国人への対応 国際理解・国際交流の推進 姉妹都市等との交流の強化	
	14 商工振興・創業	創業の支援 商店街の活性化 中小企業の育成・支援の充実 就労の支援	
	15 農業振興	個々の農業経営改善への支援 都市農業ならではの農業体験農園や観光農園等の開園への支援 人通りが多い駅周辺等や直売所等がない地域での販路拡大 都市農業による地域活性化	
	16 スポーツ振興	生涯スポーツの推進 体育施設の保全・機能向上 スポーツの活動支援の充実	
	保健・福祉	17 高齢者福祉	在宅医療と介護の連携体制の整備 認知症の高齢者を含む高齢者の見守り体制の整備 地域における元気な高齢者の発掘・育成 市内における地域密着型サービスの充実
		18 障害者福祉	生活の場を拠点とする利用者本位の支援 働くことへの支援 障害のある人への理解促進(心のバリアフリー)と地域との交流
		19 生活福祉	生活困窮者への支援 生活保護被保護者への自立支援 生活保護被保護者への就労支援 ひとり親家庭への自立支援
		20 健康づくり	必要な情報が得られる環境づくり 正確に健康状態を把握するための支援 市民自らが主体的に行う健康づくりの支援 地域の団体等による健康づくり活動の支援



くらし・環境	21	自然環境・生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の管理・保全の仕組みづくりと運用 地球環境への配慮 公害防止による生活環境の保全 空き家・空き地対策
	22	ごみ・リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ごみ・資源物の安定的かつ効率的な処理 ごみの減量化の推進 ごみの資源化の推進 事業系廃棄物の適正処理
	23	市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> 拠点整備の推進 都市計画道路沿道のまちづくりの推進 暮らしやすいまちの形成に向けたまちづくりの推進
	24	交通安全	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の向上 駅周辺の安全な自転車利用環境の整備 交通安全施設の整備及び維持管理
	25	道路	<ul style="list-style-type: none"> 自動車交通を円滑に処理することのできる道路ネットワークの確立 安全・快適に歩くことのできる道路ネットワークの確立 道路ストック及び橋りょうの適切な維持管理
	26	下水道	<ul style="list-style-type: none"> 下水道施設の計画的な維持管理 雨水への対策
	27	公園	<ul style="list-style-type: none"> 公園・緑地の計画的な整備 公園・緑地の総合的な維持管理 市民や事業者等との協働による維持管理や情報発信の推進
	28	防災	<ul style="list-style-type: none"> 自助力強化のための啓発及び支援 共助力強化による地域防災力の向上 防災体制・消防力の強化 危機管理体制の向上
	29	防犯	<ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺被害防止のための取組 市・市民・警察・関係機関のネットワークづくり 地域の防犯意識の向上と防犯活動の支援 まちづくりにおける安全・安心の環境整備
	30	消費生活	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談体制の拡充 消費者教育の推進 消費者見守り体制の構築

公共経営	31	市政情報・情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 電子媒体を活用した市政情報の発信力強化 あらゆる世代に活用される市報づくり 情報公開の推進 市民の声の広報活動への活用
	32	市民参加・協働	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加と協働の裾野の拡大 若者や子育て世代も市政に参加しやすい仕組みの構築 協働推進の核となる人材の育成 こくぶんじ市民活動センターの機能強化
	33	行政改革	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な市政運営 効率的効果的な行政サービスの提供 事業の選択と重点化 公共施設等マネジメントの更なる推進
	34	財政運営	<ul style="list-style-type: none"> 堅実な財政運営による財政規律の維持 より強固で弾力的な財政体質の確立 財源確保のための取組 統一的な基準による地方公会計の導入及び積極的な活用
	35	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 市民と職員の双方が使いやすい庁舎の建設 新庁舎建設に向けた市民参加の促進 PPPの活用と庁舎の複合化・多機能化による財政負担の軽減 新庁舎建設に必要な財源の確保
	36	職員育成	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質及び能力の向上 チャレンジと成果が評価につながる制度の確立 より良い人材の確保と適正な人員配置による組織力の向上 良好な職場環境を整備するための意識の醸成

実行計画の見方

目指す姿

8年後の各施策の目標を記載しています。

まちづくりの指標

上記「目指す姿」の達成状況を定量・定性的に測るための代表的な指標を設定しています。原則として、現状値は平成28年度、目標値は平成32年度(前期計画の最終年度)の数値を記載しています。

施策をとりまく現状

各施策に関する社会の現状と今までの取組などを記載しています。

主な課題

目指す姿実現のために解決すべき主要な課題を記載しています。

目指す姿実現のための中心事業

各施策に関連する事業の中から、施策の推進を図る上で影響度の高い事業等を設定しています。

事業目標

目指す姿実現のための中心事業の目標を記載しています。

数値目標

上記「事業目標」の達成状況を定量・定性的に測るための代表的な指標を設定しています。原則として、現状値は平成28年度、目標値は平成32年度(前期計画の最終年度)の数値を記載しています。

I 妊娠・出産・乳幼児支援

主担当課 健康推進課
担当課 子育て相談室
子ども若者計画課

目指す姿

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が受けられることで、妊産婦とその家族の出産・子育ての不安が軽減され、家族が健やかに生活しています。

指標名	指標の説明	現状値		
		H28	H30	H32
妊娠・出産期における母子支援の充実に対する満足度	市民アンケートの数値	20.6%	25%	30%
妊娠11週以下で妊産婦を出した人の割合(※)	妊娠早期から適切な支援を受けることができる人の割合	93.6%	96%	98%

※厚生労働省が作成した「健やか親子21(第2次)」の中で設定されている指標であり、国が推奨している基準。

施策をとりまく現状

全国的に出生数は減少傾向にあり、平成25(2013)年の出生数は約101万人となっています。また、晩婚化の進行により、出産時の母親の平均年齢は上昇傾向にあり、第1子出産が30.4歳、第2子が32.3歳という状況です。このような状況下において、妊産婦に対しては、妊娠期からの切れ目のない支援を提供するとともに、乳幼児の健やかな成長・育成環境を整えていく必要があります。そのために、地域の関係機関とのネットワークを構築し、地域資源の活用や人材育成等を行うことが求められています。

市では、母子健康手帳交付を市内複数箇所で行うとともに、市役所開庁時間に来庁できない方へも夜間・休日の受取サービスを行うことで、母子健康手帳を受け取りやすい環境づくりに努めています。これにより、妊娠早期から適切な支援が受けられる状況を提供するとともに、妊娠届提出時のアンケートにより、潜在的に支援を必要としている方の把握に努めています。

また、乳幼児が健康に育ち、家族が子どもの発育に合わせた育児ができるように、保健師や助産師等による各種相談を行い、育児不安の軽減を図っています。さらに、育児中のメンタルヘルスの課題に対応するため、平成27年度より精神科医による「親と子の相談室」を開始しました。

主な課題

- 妊婦とその家族が、妊娠・出産・育児に向けた環境を整えられるように、母子保健サービスの情報を得る機会や、仲間づくりの場の提供が必要です。
- 子育て世帯の不安感や負担感の軽減を図るため、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の体制づくりが必要です。
- 様々な要因により精神的な不調を抱えている保護者に対して、専門家による相談を実施し、精神面の健康について支援をする必要があります。

I 妊娠・出産・乳幼児支援

目指す姿実現のための中心事業

中心事業① 事業名: **両親学級事業** 関連する施策の展開・取組方針①

事業目標 妊婦とその家族が、妊娠・出産・育児に関する情報や技術を習得し、参加者同士の交流を深めることで、妊娠期の不安軽減を図ります。

数値目標	指標名	指標の説明	現状値		
			H27	H30	H32
両親学級受講者数	両親学級(わくわく・ひかりクラス)受講者数		591人	650人	700人

事業内容 いずみ保健センターにおいて、妊婦とその家族を対象として、沐浴の練習やパートナーの妊婦ジャケット体験ができる講座、歯科医師による講話などを行います。また、参加者同士の交流を図るためにグループワークを実施し、地域での仲間づくりを進めます。

事業費	
平成29年度	559千円
平成30年度	568千円
平成31年度	568千円
平成32年度	568千円
4年間の総事業費	2,263千円

中心事業② 事業名: **母子訪問指導事業** 関連する施策の展開・取組方針②

事業目標 すべての母子の状況を確認し、子どもの健やかな成長と産婦の育児不安の軽減を図ります。

数値目標	指標名	指標の説明	現状値		
			H27	H30	H32
新生児訪問実施率	新生児の発育状況等の確認のために、生後120日までの乳児を持つ家庭を対象とした家庭訪問実施率		92%	94%	96%

事業内容 出生通知書に基づき、生後120日までの乳児を持つすべての家庭に対して、助産師が訪問を実施します。訪問により、産婦の心身の状態や家庭環境、子どもの発育状況等を確認し、必要時には継続支援につなげていきます。

事業費	
平成29年度	7,346千円
平成30年度	8,038千円
平成31年度	8,038千円
平成32年度	8,038千円
4年間の総事業費	31,460千円



I 妊娠・出産・乳幼児支援

施策の展開

取組方針① 母子保健情報の提供・共有・交換

妊婦とその家族の不安軽減を図るため、両親学級などの保健事業を通じて、妊娠・出産・育児に関する知識や母子保健サービス情報を得る機会を提供するとともに、地域での仲間づくりの支援を行います。また、より良い子育てのため、病気の予防や栄養・食育に関する情報など、親と子の健康に配慮した多様な観点からの情報提供を行います。

取組方針② 切れ目のない妊娠・出産・育児支援体制の充実

子育て世帯の不安感や負担感の軽減を図り、誰もが安心して妊娠・出産・育児に臨める環境を整えるため、妊娠前から育児期にわたる総合的相談と支援をワンストップサービスで行う体制を充実させていきます。訪問や相談事業を通じて、心身の状態や家庭の状況、子どもの発育状況等を継続的に把握することで、各家庭のニーズに応じた切れ目のない支援を実現します。

取組方針③ メンタルヘル스에課題を抱えている保護者への支援

妊娠期や乳幼児期の子どもの養育する保護者のうち、メンタルヘル스에課題を抱えている方に、精神科医師が相談を実施します。精神面の健康について相談を行うことで、育児不安等の解消・軽減を図り、必要な医療等支援への橋渡しを円滑に行います。

関連する個別計画	計画名	期間	平成27(2015)年度～平成36(2024)年度
関連する個別計画	国分寺市健康増進計画	【期間】	平成27(2015)年度～平成36(2024)年度
	国分寺市子育て・育ちいきいき計画	【期間】	平成27(2015)年度～平成31(2019)年度
	国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略	【期間】	平成27(2015)年度～平成31(2019)年度



母乳食講習会

III 実行計画
子ども・学び・文化

ともに進めるために

- ・地域で子どもの育ち・子育てを見守ります。
- ・相談機関を気軽に利用します。また、自分に必要な情報を収集し、家族と共有します。

施策の展開

課題を解決し、目指す姿を実現するための取組方針を記載しています。

関連する個別計画

各施策に関連する個別計画を掲載しています。

ともに進めるために

目指す姿実現に向けて市民・事業者等が、協力して取り組めることを市民ワークショップ等の意見をもとに記載しています。

I 妊娠・出産・乳幼児支援

中心事業③ 事業名：乳幼児母性健康相談事業

事業内容 育児に関する各種相談を行うことのできる場を定期的に提供することで、保護者の育児不安等を軽減し、母子の健康保持・増進を図ります。

数値目標	指標名	指標の説明	現状値			目標値		
			H27	H30	H32	H27	H30	H32
	乳幼児母性健康相談者数	保健相談、母性相談、産みつき相談、栄養相談の延べ人数	774	800人	830人			

事業内容	事業費			
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
乳幼児が健康に育ち、母親が子どもの発育に合わせた育児ができるように、いずみ保健センターにおいて、保健師による保健相談、助産師による母性相談、歯科衛生士による産みつき相談及び管理栄養士による栄養相談を行います。	1,406千円	1,457千円	1,457千円	1,457千円
	4年間の総事業費 5,777千円			

中心事業④ 事業名：親と子の相談事業

事業内容 精神的な不調を抱えている妊婦や乳幼児を持つ保護者の育児不安等の軽減を図ります。

数値目標	指標名	指標の説明	現状値			目標値		
			H27	H30	H32	H27	H30	H32
	親と子の相談室利用者数	-	10人	12人	15人			

事業内容	事業費			
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
妊婦や乳幼児を持つ保護者のうち、様々な要因により精神的な不調を抱えている方に対し、いずみ保健センターで、精神科医による相談を行います。相談の結果、助言や経過観察、継続相談、医療機関やカウンセリングの紹介などを判断し、保健師が継続してフォローを行います。	171千円	186千円	186千円	186千円
	4年間の総事業費 729千円			

III 実行計画
子ども・学び・文化

事業内容

目指す姿実現のための中心事業の実施内容を記載しています。

事業費

平成29年度から平成32年度（前期計画期間）の各年度の事業費（千円単位）を記載しています。なお、事業費には、職員に係る人件費は含まれていません。

III 実行計画

実行計画の見方